

政策シート (政策名) 快適な道路・川づくり

(予算費目名) 道路企画費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標 ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。

①道路ネットワークの整備・強化

◇関連するSDGsのゴール

①都市									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	6,730,909	5,857,036				
決算	5,091,060					
人件費(A)	114,100	97,559				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	5,205,160	5,954,595				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
現道改良の整備率	%	目標	62.2	62.3	62.4	62.5	62.6	62.7
		実績	62.2					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。

①道路ネットワークの整備・強化

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 進んでいる

①コンパクトシティ、道路ネットワークの整備・強化に向け、道路改良事業の推進を図った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		会計年度 (人事課)
1	道路関係調査事業				○	107,121	94,437	1.8				
2	市道整備事業	○	○	○		1,329,970	1,305,400	3.4				0.3
3	国県道整備事業	○	○	○		1,627,856	1,592,870	4.8				0.5
4	道路整備推進事業					11,744	11,730	0.0				
5	スマートインターチェンジ関連整備事業	○	○	○		523,183	517,030	0.9				
6	三遠南信自動車道関連整備事業	○	○	○		879,138	872,600	0.9				
7	国直轄道路事業(負担金)				○	1,363,283	1,360,000	0.5				
8	道路企画運営経費(一般諸経費のみ)					112,300	102,969	1.0				0.8
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						5,954,595	5,857,036	13.3				1.6

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

令和2年度

(管理番号)
03 04 02 01 002314000 01

(担当課)
道路企画課

(責任者)
小出 弘章

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 道路関係調査事業

◇事業目的・事業対象

安全で安心な道路空間の構築や維持管理コストの縮減・平準化を実現するために、現状の把握について調査・検討を行う。

◇事業の概要

【道路交通調査事業】

道路整備の必要性や事業化に向けた調査・検討、道路利用状況の把握等により、道路整備の早期事業化・円滑化を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20	-	一般会計	自治事務(法令義務)		-	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	25,121	94,437				
	決算	31,496					
	国・県支出	1,216	2,000				
	市債						
	その他		6,000				
	一般財源 一般会計繰入金	30,281	86,437				
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		19,600	12,684				
人工	正規	2.8	1.8				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	○ 11.3
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

交流人口の拡大や地元産業の強化等、持続可能な都市づくりに必要な道路整備に向けての検討。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【道路交通調査事業】
 連続立体整備する方向で議論が進む国道1号浜松バイパスにおいて、浜松市が管理する交差道路側の課題等の整理を行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度
 達成

【道路交通調査事業】
 国道1号の交差道路の課題を抽出することができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、継続して取り組んでいく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・継続して調査を行う。

事業シート (事業名) 市道整備事業

◇事業目的・事業対象

東名高速道路など恵まれた交通環境を活かしたバランスの良い道路整備を促進するため、幹線道路を軸に地域の特性を配慮した補助幹線として、利用度が高く投資効果のある路線から重点的に整備を進め、安全で快適な生活環境を目指す。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No148,150,151】

- 市道整備事業
- ・国交付金事業
 - 社会資本整備総合交付金事業
 - 道路改良(実施中) 1路線
 - ・国交付金事業
 - 地方創生道整備推進交付金事業
 - 道路改良(実施中) 2路線
 - ・単独事業
 - 中規模要望ほか

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第17条	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,393,721	1,305,400				
	決算	1,110,239					
	国・県支出	214,108	360,000				
	市債	657,000	803,900				
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	239,131	141,500				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		22,120	24,570				
人工	正規	3.0	3.4				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.4	0.3				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.3、11.6、11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

コンパクトシティの形成に向け浜松市が掲げる拠点ネットワーク型の都市づくりが実現する。また、新たな道路ネットワークの構築により、周辺道路等において渋滞の緩和が図られる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
道路改良率							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	60	60.3	60.4	60.4	60.4	60.4	60.4
実績値	60.2	60.3					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
市街地と高速道路を結ぶ道路ネットワーク機能の充実 対象路線整備率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		55	55	56	75	93	100
実績値	55	55					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
拠点間の連携に資する幹線道路の整備 対象路線整備率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		0	16	26	30	80	80
実績値	0	0					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
中規模要望(高判定)の残件数(件)※平成30年度末時点における累積未実施分(土木部全体)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	530	335	212	92	46		0
実績値	530	328					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No148,150,151】

- 市道整備事業
- ・国交付金事業 [決算134,800千円(うち前年度繰越21,640千円)]
 - 社会資本整備総合交付金事業
 - 道路改良(実施中) 1路線
 - ・国交付金事業 [決算274,060千円(うち前年度繰越51,640千円)]
 - 地方創生道整備推進交付金事業
 - 道路改良(実施中) 2路線
 - ・単独事業 [決算701,379千円(うち前年度繰越167,651千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・概ね、予定通りに進捗した。事業用地確保が出来ず、道路改良工事に着手できない箇所があった。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・生活道路である市道改良の推進を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業用地を確保し、生活道路である市道の改良に今後も継続して取り組む。

補助シート (事業名) 市道整備事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
148	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施
150	アクセス道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	アクセス道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	アクセス道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	アクセス道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工
151	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工

令和2年度

(管理番号)
03 04 02 01 002314000 03

(担当課)
道路企画課

(責任者)
小出 弘章

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 国県道整備事業

◇事業目的・事業対象

政令指定都市移行後、県より移譲された国県道について、円滑な自動車交通ネットワークを構築するために道路整備を推進する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No148,150,151】

- 国県道整備事業
- ・国交付金事業
 - 社会資本整備総合交付金事業
 - 国道:道路改良(実施中) 4路線 7工区
 - 県道:道路改良(実施中) 4路線 4工区
 - ・市単独事業
 - 中規模要望ほか
 - ・防衛施設周辺整備事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第17条	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,862,831	1,592,870				
	決算	994,909					
	国・県支出	360,573	619,485				
	市債	418,200	704,700				
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	216,135	268,685				
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		22,120	34,986				
人工	正規	3.0	4.8				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.4	0.5				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	○ 11.3、11.6、11.a
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

コンパクトシティの形成に向け浜松市が掲げる拠点ネットワーク型の都市づくりが実現する。また、新たな道路ネットワークの構築により、周辺道路等において渋滞の緩和が図られる。

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
道路改良率							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	77.3	77.4	77.5	77.6	77.7	77.8	77.9
実績値	77.3	77.3					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
市街地と高速道路を結ぶ道路ネットワーク機能の充実 対象路線整備率(%)					第1期	第2期	R1~R4
							150
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		55	55	56	75	93	100
実績値	55	55					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
拠点間の連携に資する幹線道路の整備 対象路線整備率(%)					第1期	第2期	R1~R4
							151
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		0	16	26	30	80	80
実績値	0	0					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
中規模要望(高判定)の残件数(件)※平成30年度末時点における累積未実施分(土木部全体)					第1期	第2期	R1~R4
							148
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	530	335	212	92	46		0
実績値	530	328					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

<p>国県道整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交付金事業 [決算401,817千円(うち前年度繰越64,325千円)] <ul style="list-style-type: none"> 社会資本整備総合交付金事業 国道:道路改良(実施中) 4路線 県道:道路改良(実施中) 3路線 ・国交付金事業 [決算169,460千円(うち前年度繰越0千円)] <ul style="list-style-type: none"> 個別補助事業 県道:道路改良(実施中) 1路線 ・単独事業 [決算379,205千円(うち前年度繰越104,406千円)] ・防衛施設周辺整備事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・概ね、予定通りに進捗した。事業用地確保が出来ず、次年度に引き続き用地交渉を行う箇所があった。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・コンパクトシティの実現に向けて、幹線道路網の整備を進める。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・コンパクトシティの実現に向けて、幹線道路網の整備を進める。

令和2年度

(管理番号)
03 04 02 01 002314000 03(担当課)
道路企画課(責任者)
小出 弘章(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日**補助シート** (事業名) 国県道整備事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
148	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施
150	アクセス道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	アクセス道路の整備 ・用地補償 ・道路改良工	アクセス道路の整備 ・用地補償 ・道路改良工	アクセス道路の整備 ・用地補償 ・道路改良工
151	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地補償 ・道路改良工	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地補償 ・道路改良工	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地補償 ・道路改良工	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地補償 ・道路改良工

令和2年度

(管理番号)
03 04 02 01 002314000 04

(担当課)
道路企画課

(責任者)
小出 弘章

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 道路整備推進事業

◇事業目的・事業対象

道路整備事業に係る国庫補助事業の運営に必要な経費の管理。

◇事業の概要

道路整備事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	36,200	11,730				
	決算	23,219					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	23,219	11,730				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		7,000	14				
人工	正規	1.0	0.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

道路整備事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

道路事業の執行に伴い、必要な経費の適正な予算執行を行う事ができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート (事業名) スマートインターチェンジ関連整備事業

◇事業目的・事業対象

東名高速道路の三方原パーキングエリア及び館山寺バス停にスマートインターチェンジを設置することにより、新たな広域交通の拠点を形成し、高速道路と一般道路のネットワークを強化することで、利便性の向上、産業・経済の活性化、観光交流を促進する。また、スマートインターチェンジへのアクセス道路等の整備を行う。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.150】

三方原スマートインターチェンジのアクセス道路となる有玉南初生線の交差点改良・道路拡幅整備及び館山寺スマートインターチェンジ周辺の道路整備等を行います。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	H31	一般会計	自治事務(法令義務)		○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,085,600	517,030				
	決算	882,382					
	国・県支出	294,647	236,500				
	市債	443,500	254,800				
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	144,235	25,730				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		7,700	6,153				
人工	正規	1.1	0.9				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1,9.2		

・事業とゴールの関連性

スマートIC及びアクセス道路の整備により、東名高速道路とのアクセスが向上し、
 ・物流網の強化による企業誘致の促進・雇用拡大等の地域産業の活性化
 ・観光振興による地域活性化
 ・災害時の救援・復旧活動の迅速化
 などの多面的な効果が期待される。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
事業費ベースによる進捗率(%)					Ⅲ-1(1)イ		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	87	90	93	96	100	100	100
実績値	69	79					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
市街地と高速道路を結ぶ道路ネットワーク機能の充実 対象路線整備率(%)							150
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		55	55	56	75	93	100
実績値	55	55					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.150】

三方原及び館山寺スマートICのアクセス道路となる有玉南初生線外10線の交差点改良・道路拡幅整備等を行った。

[決算882,382千円(うち前年度繰越298,726千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

今後、三方原スマートICのアクセス道路となる(都)有玉南初生線(供用目標:令和4年度)の整備を推進し、早期の供用開始を目指す。

館山寺スマートICの繰越工事の整備を推進し、早期完了を目指す。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・三方原スマートICの利用促進のため、アクセス道路となる(都)有玉南初生線の整備を進める。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・三方原スマートICの利用促進のため、アクセス道路となる(都)有玉南初生線の整備を進める。

補助シート (事業名) スマートインターチェンジ関連整備事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
150	アクセス道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事

令和2年度

(管理番号)

03 04 02 01 002314000 06

(担当課)

道路企画課

(責任者)

小出 弘章

(基準日)

令和 2 年 7 月 1 日

事業シート

(事業名) 三遠南信自動車道関連整備事業

◇事業目的・事業対象

三遠南信地域への高速サービスの提供、災害に強い道路網の構築により、地域医療サービスの向上等、安全で快適な生活環境を確保するとともに、三遠南信地域間の交流促進や連携強化による地域の活性化を目指す。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.147】

・平成26年3月に現道改良区間と位置付けられた国道152号(水窪北IC～水窪IC)の整備を進め、青崩峠道路等の高規格幹線道路を繋ぐ区間として直轄事業と同調した供用を目指す。

・平成30年度の佐久間道路((仮)佐久間IC～(仮)東栄IC)の供用目標に合わせ、(仮)佐久間IC及び(仮)浦川ICのアクセスルートの改良及び防災工事を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	H34	一般会計	自治事務(法令義務)		○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,179,100	872,600				
	決算	935,625					
	国・県支出	411,422	371,580				
	市債	302,100	273,600				
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	222,103	227,420				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		11,760	6,538				
人工	正規	1.6	0.9				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.1、11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

三遠南信自動車道の整備により、都市と集落地域の連携強化が図られるとともに、災害に強い道路の整備により、安心・安全な生活を確保することができる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
現道改良区間整備率(%)					-		147
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	9	18	25	35	50	60	70
実績値	10	14					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
佐久間道路ICアクセス道路整備率(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100						100
実績値	100						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.147】

・平成26年3月に現道改良区間と位置付けられた国道152号(水窪北IC～水窪IC)の整備を進め、青崩峠道路等の高規格幹線道路を繋ぐ区間として直轄事業と同調した供用を目指す。
 ・平成30年度の佐久間道路((仮)佐久間IC～(仮)東栄IC)の供用目標に合わせ、(仮)佐久間IC及び(仮)浦川ICのアクセスルートの改良工事を実施する。

[決算935,625千円(うち前年度繰越302,139千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・国道152号現道改良区間(水窪北IC～水窪IC)は、一部橋梁工事に着手したが、保安林の解除や河川占用等の調整が難航しており、事業の進捗に遅れが生じる可能性がある。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・三遠南信自動車道の開通に向け、国土交通省と連携し事業進捗調整を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・国土交通省と連携し、今後も継続して取り組んでいく。

令和2年度

(管理番号)
03 04 02 01 002314000 06

(担当課)
道路企画課

(責任者)
小出 弘章

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 三遠南信自動車道関連整備事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
147	<現道改良区間整備> ・用地・物件補償 ・橋梁工 ・道路改良工 ・河川護岸工	<現道改良区間整備> ・用地・物件補償 ・橋梁工 ・道路改良工 ・河川護岸工	<現道改良区間整備> ・橋梁工 ・道路改良工 ・河川護岸工	<現道改良区間整備> ・橋梁工 ・道路改良工 ・河川護岸工
〇〇				

事業シート (事業名) 国直轄道路事業(負担金)

◇事業目的・事業対象

国土交通省直轄事業として行う国道整備事業への負担金

◇事業の概要

道路法第50条及び交通安全施設等整備事業の推進に係る法律第6条の規定により、政令都市移行に伴い、国直轄事業の事業費負担割合に応じた事業費を市が負担する。

- ①国道474号
 - 三遠・佐久間道路地域連携推進事業
 - 青崩峠道路地域連携推進事業
- ②国道1号
 - 維持管理(防護柵・道路標識・区画線・情報提供機器)
 - 電線共同溝事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第50条、交通安全施設等整備事業の推進に係る法律第6条	-	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,062,000	1,360,000				
	決算	1,035,333					
	国・県支出						
	市債	953,900	1,249,000				
	その他						
	一般財源	81,433	111,000				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		8,400	3,283				
人工	正規	1.2	0.5				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

三遠南信地域全体の持つポテンシャルを最大限に高めるとともに、広域連携、地方創生の強力な推進に必要な不可欠なものである。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

道路法第50条及び交通安全施設等整備事業の推進に係る法律第6条の規定により、政令都市移行に伴い、国直轄事業の事業費負担割合に応じた事業費を市が負担する。

①国道474号

- 三遠・佐久間道路地域連携推進事業
- 青崩峠道路地域連携推進事業

②国道1号

- 維持管理(防護柵・道路標識・区画線・情報提供機器)
- 電線共同溝事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

国直轄事業の執行に伴い、必要な負担金の適正な予算執行を行う事ができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

国交省施工の三遠南信自動車道の進捗に合わせ、実施している。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

国交省施工の三遠南信自動車道の進捗に合わせ、実施している。

事業シート (事業名) 道路企画運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	86,336	102,969				
	決算	77,857					
	国・県支出						
	市債						
	その他	39	44				
	一般財源	77,818	102,925				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		15,400	9,331				
人工	正規	1.8	1.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	0.8				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート

(政策名) 快適な道路・川づくり

(予算費目名) 街路事業費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・都市計画道路の整備を進めることにより、市街地における道路ネットワークを構築し、市民が安全で利便性が
高く快適に暮らしやすいまちづくりを実現する。

◇関連するSDGsのゴール

①都市									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	1,296,244	1,070,495				
決算	1,319,816					
人件費(A)	17,080	16,520				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,336,896	1,087,015				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
都市計画道路の整備率	%	目標	67.7	67.8	68	68	68.2	68.3
		実績	67.7					
天竜川駅周辺整備事業 事業費ベースの進捗率	%	目標	81	81	98	98	100	100
		実績	79					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

・都市計画道路の整備を進めることにより、市街地における道路ネットワークを構築し、市民が安全で利便性が
高く快適に暮らしやすいまちづくりを実現する。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
都市計画道路の整備により、市街地における道路ネットワークの構築を図ることができた。これにより、周辺道路の混雑緩和や歩行者の安全等を確保することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	都市計画道路整備事業	○	○	○		999,885	990,085	1.4				
2	街路整備推進事業					11,540	11,540					
3	天竜川駅周辺整備事業	○		○		69,100	65,600	0.5				
4	街路事業運営経費(一般諸経費のみ)					6,490	3,270	0.3				0.4
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,087,015	1,070,495	2.2				0.4

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 都市計画道路整備事業

◇事業目的・事業対象

都市圏主要幹線道路としての都市計画道路の整備を進め、都市内交通を効率的に処理し、都市部と周辺地域の道路ネットワークとしての連続性を確保することにより、市民生活の快適性を向上させる。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.150】

【国交付金事業】

・国土交通省所管事業の社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金を活用し、事業のスケジュールを明確にした上で、街路事業の推進を図ります。
 ・(都)植松伊左地線外4路線8工区において、選択と集中を図った上で、用地買収・物件補償及び工事を実施し、事業の進捗を図ります。

【市単独事業】

・補助金(交付金)事業を補完するため、関連した路線(箇所)の整備を行います。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,102,356	990,085				
	決算	1,008,667					
	国・県支出	414,514	416,375				
	市債	365,600	401,200				
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	228,553	172,510				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		7,000	9,800				
人工	正規	1.0	1.4				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.3、11.6、11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

コンパクトシティの形成に向け浜松市が掲げる拠点ネットワーク型の都市づくりが実現する。
 また、新たな道路ネットワークの構築により、周辺道路等において渋滞の緩和が図られる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
整備率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	66.6	67.7	67.8	68	68	68.2	68.3
実績値	67.7	67.7					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
市街地における交通の円滑化(平均旅行速度の向上)(km/h)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	26	30	30	30	30	30	30
実績値	26	27					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
市街地と高速道路を結ぶ道路ネットワーク機能の充実 対象路線整備率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		55	55	56	75	93	100
実績値	55	55					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

<p>【R1-R4重点戦略項目No.150】</p> <p>【国交付金事業】 [決算821,566千円(うち前年度繰越265,252千円)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省所管事業の所管の社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金を活用し、事業のスケジュールを明確にした上で、街路事業の推進を図ります。 ・(都)植松伊左地線外4路線8工区において、選択と集中を図った上で、用地買収・物件補償及び工事を実施し、事業の進捗を図ります。 <p>【市単独事業】 [決算187,101千円(うち前年度繰越47,582千円)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金(交付金)事業を補完するため、関連した路線(箇所)の整備を行います。
--

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="checkbox"/> 計画通り</p> <p>都市計画道路の整備を進めることにより、市街地における道路ネットワークの構築を図ることができた。</p>

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

当初の計画通り、事業の進捗を図り成果が発揮された。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も継続して事業に取り組んで行く。

補助シート (事業名) 都市計画道路整備事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
150	事業認可を受けている事業を継続して整備。 ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事	事業認可を受けている事業を継続して整備。 ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事	事業認可を受けている事業を継続して整備。 ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事	事業認可を受けている事業を継続して整備。 ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事
〇〇				

事業シート (事業名) 街路整備推進事業

◇事業目的・事業対象

街路整備事業に必要な登記事務等を実施し円滑な事業進捗を図る。

◇事業の概要

街路事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

消耗品 : 収入印紙代

手数料 : 不動産鑑定手数料

登記事務 : 所有権移転・土地分筆登記

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	16,010	11,540				
	決算	7,206					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	7,206	11,540				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		3,500					
人工	正規	0.5					
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

街路事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

消耗品 : 収入印紙代

手数料 : 不動産鑑定手数料

登記事務 : 所有権移転・土地分筆登記

・事業の成果と課題

指標の達成度

街路事業の執行に伴い、必要な経費の適正な予算執行を行う事ができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

当初の計画通り、必要な経費の適正な予算執行を図り成果が発揮された。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も継続して事業に取り組んで行く。

令和2年度

(管理番号)
03 04 02 02 002314000 03(担当課)
道路企画課(責任者)
小出 弘章(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 天竜川駅周辺整備事業

◇事業目的・事業対象

JR東海道本線天竜川駅に自由通路をはじめとする駅周辺整備やアクセス道路を整備し、公共交通利用の交通結節点機能の向上を図ると共に、周辺地域の利便性を高め、駅を中心とした南北交流の架け橋となるよう、暮らしやすい地区環境を図る。

◇事業の概要

JR東海道本線天竜川駅の橋上化と南北自由通路の新設及び駅前広場の整備等を進めていく。
「都市機能誘導区域」及び「居住誘導区域」に指定された天竜川駅周辺地区において、駅へのアクセス道路等の整備を進めていく。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	H30	一般会計	自治事務(その他)		○	—	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	172,606	65,600				
	決算	299,257					
	国・県支出	116,495	2,250				
	市債	87,600	30,900				
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	95,162	32,450				
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		3,500	3,500				
人工	正規	0.5	0.5				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.2、11.3、11.6、11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

コンパクトシティの形成に向け浜松市が掲げる拠点ネットワーク型の都市づくりが実現する。
また、公共交通の利便性向上に伴い、車からのモーダルシフトが図られる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
事業費ベースによる進捗率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	81	81	98	98	100	100
実績値	100	79					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
主要な駅、バス停の利用者(千人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200
実績値	27,848(H29)	27,959(H30)					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

JR東海道本線天竜川駅の駅前広場施設の整備を実施。
 南口駅前広場(R1.8供用)、北口駅前広場(R1.12暫定供用)
 天竜川駅周辺地区において、駅へのアクセス道路等の整備を進めていく。
 (市)和田58号線 道路改良工、天竜川南口アクセス道路 道路詳細設計、物件調査

【国交付金事業】 [決算214,100千円(うち前年度繰越194,300千円)]
 【市単独事業】 [決算85,157千円(うち前年度繰越17,972千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

周辺地域の利便性向上のため、JR東海道本線天竜川駅の駅前広場の供用を開始した。
 一部、地権者との調整難航に伴い、駅前広場施設整備及びアクセス道路の用地調査及び道路詳細設計に遅れが生じている。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

当初の計画通り、事業の進捗を図り成果が発揮された。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も継続して周辺道路整備に取り組んで行く。

事業シート (事業名) 街路事業運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	5,272	3,270				
	決算	4,686					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	4,686	3,270				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		3,080	3,220				
人工	正規	0.4	0.3				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.4				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

街路事業の執行に伴う適正な予算執行を行う事ができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

当初の計画通り、適正な予算執行を図り成果が発揮された。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も継続して事業に取り組んで行く。

政策シート

(政策名) 快適な道路・川づくり

(予算費目名) 河川費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・水災害を防止・軽減する対策や施設改修などにより、リスク低減を図る。
(河川改良、浸水対策支援)

◇関連するSDGsのゴール

①都市	⑬気候変動								
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	1,044,025	1,034,784				
決算	864,054					
人件費(A)	33,600	33,880				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	897,654	1,068,664				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
中規模要望(高判定)の残件数(件) (土木部全体)	件	目標	355	212	92	46	0	0
		実績	328					
高塚川流域浸水対策アクションプランに基づく床上 浸水戸数の解消割合(%)	%	目標	0	50	50	50	50	50
		実績	0					
《河川法》河川の整備済み延長(km)	km	目標	86.5	86.6	86.7	86.8	87	87
		実績	86.5					

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。
(河川改良、浸水対策支援)

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・中規模要望を202件実施した。
・高塚川流域浸水対策アクションプランに基づき、高塚川の準用河川指定に向けた河道計画を検討した。
・「浜松市総合雨水対策計画」を策定した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	河川改良事業	○	○	○		1,043,806	1,022,806	3.0				
2	浸水対策支援事業	○		○		5,700	5,000	0.1				
3	河川運営経費(一般諸経費のみ)					19,158	6,978	1.5			0.6	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,068,664	1,034,784	4.6			0.6	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

令和2年度

(管理番号)
03 04 02 03 002331000 01

(担当課)
河川課

(責任者)
野末 昇

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 河川改良事業

◇事業目的・事業対象

・豪雨による浸水被害を防止・軽減するため、調査・検討を行い、計画的に河川・排水路の改修を実施する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.148、163】

◆国交付金事業

・(二)九領川 改修

◆単独事業

・浸水被害の調査、対策検討、治水計画策定
・市管理河川(二級河川・準用河川・普通河川等)改修

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
		一般会計	自治事務	河川法	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,023,140	1,022,806				
	決算	844,338					
	国・県支出	35,466	53,333				
	市債	131,300	24,000				
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	677,572	945,473				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		21,000	21,000				
人工	正規	3.0	3.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.5、11.b
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

・気候変動に伴い頻発する大型台風や豪雨による浸水等の被害を防止、または軽減する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
中規模要望(高判定)の残件数(件)※平成30年度末時点における累積未実施分(土木部全体)							148
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	530	335	212	92	46	0	0
実績値	530	328					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
高塚川流域浸水対策アクションプランに基づく床上浸水戸数の解消割合(%)							163
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	0	0	50	50	50	50	50
実績値	0	0					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
≪河川法≫河川の整備済み延長 (km)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	86.3	86.5	86.6	86.7	86.8	87	87
実績値	86.3	86.5					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ◆国交付金事業
 - ・(二)九領川 改修
- ◆単独事業
 - ・浸水被害の調査、対策検討、治水計画策定
 - ・市管理河川(二級河川・準用河川・普通河川等)改修

・事業の成果と課題

指標の達成度 <input type="checkbox"/> 計画通り
<ul style="list-style-type: none"> ・中規模要望を202件実施した。 ・高塚川流域浸水対策アクションプランに基づき、高塚川の準用河川の指定にむけた河道計画を検討した。 ・九領川については、赤松橋の右岸上流部において、河川用地を取得した。 ・東芳川については、護岸工事等を実施した。 ・「浜松市総合雨水対策計画」を策定した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

浜松市総合雨水計画の行動計画を作成する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

高塚川流域浸水対策アクションプランを含む浜松市総合雨水計画を推進し、浸水を軽減する。

補助シート (事業名) 河川改良事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
148	中規模要望(高判定)の 残件数 335件	中規模要望(高判定)の 残件数 212件	中規模要望(高判定)の 残件数 92件	中規模要望(高判定)の 残件数 46件
163	高塚川改修 ・河道計画検討 床上浸水戸数解消割合 0%	高塚川改修 ・準用河川指定 ・逆流防止施設整備検 討 床上浸水戸数解消割合 50%	高塚川改修 ・ポンプ増設予備設計 床上浸水戸数解消割合 50%	高塚川改修 ・ポンプ増設実施設計 床上浸水戸数解消割合 50%

令和2年度

(管理番号)
03 04 02 03 002331000 02(担当課)
河川課(責任者)
野末 昇(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日**事業シート** (事業名) 浸水対策支援事業

◇事業目的・事業対象

・行政による浸水対策を補完するため、市民の自助・共助による対策を支援する。

◇事業の概要

・土のうステーションの適切な運用を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					○	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	13,355	5,000				
	決算	13,355					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	13,355	5,000				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		700	700				
人工	正規	0.1	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	○ 13.1
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

・気候変動に伴い頻発する豪雨による浸水被害を軽減する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
浸水対策助成制度(土のうステーション)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	10箇所追加	運用	2基追加、運用	運用	運用	運用	運用
実績値	6箇所追加	1基追加、運用					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	79	80	80	80.5	81	81.5	82
実績値	77.1	78.3					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・土のうステーションを区役所等に設置して、広域的に運用する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・令和元年度の浸水対策として、土のうを運用し、10,366袋の土のうが活用された。
 ・土のうステーションを1基(市野東)に追加した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・台風等の豪雨時における土のうの供給方法を検討する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・市民の自助・共助に資するため、土のうステーションを適切に運用する。

事業シート

(事業名) 河川運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	7,530	6,978				
	決算	6,361					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	6,361	6,978				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		11,900	12,180				
人工	正規	1.5	1.5				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.6				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート

(政策名) 快適な道路・川づくり

(予算費目名) 港湾費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・水災害を防止・軽減する対策や施設改修などにより、リスク低減を図る。
(港湾整備)

◇関連するSDGsのゴール

①都市	⑬気候変動								
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	18,000	40,000				
決算	17,750					
人件費(A)	1,400	700				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	19,150	40,700				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
港湾施設(導流堤)の改良率	%	目標	48	66	83	100	100	100
		実績	42					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。
(港湾整備)

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
県浜名港港湾施設整備事業を行った。
(内容 今切口東導流堤老朽化対策)

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	港湾整備事業				○	40,700	40,000	0.1			
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						40,700	40,000	0.1			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

令和2年度

(管理番号)
03 04 02 04 002331000 01

(担当課)
河川課

(責任者)
野末 昇

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 港湾整備事業

◇事業目的・事業対象

浜名湖(二級河川 都田川)内にある県管理浜名港の整備・維持管理事業への負担により、船舶の安全航行と災害防止をに寄与する。

◇事業の概要

◆県営事業(負担金)

・県の浜名港港湾施設整備事業に対する負担金。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
			自治事務	港湾法	-	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	18,000	40,000				
	決算	17,750					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	17,750	40,000				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		1,400	700				
人工	正規	0.2	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	○ 11.5、11.b
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	○ 13.1
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

・気候変動に伴い頻発する大型台風や豪雨による浸水等の被害を防止、または軽減する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
港湾施設(導流堤)の改良率(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	51	48	66	83	100	100	100
実績値	42	42					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ◆県営事業(負担金)
- ・県の浜名港港湾施設整備事業に対する負担金。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

県浜名港港湾施設整備事業を行った。
(内容 今切口東導流堤老朽化対策 全体延長L=212mの内、L=88m完成。改良率42%)

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・ 県事業費に対する所定の割合の負担金を拠出し、事業を推進する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・ 県事業費に対する所定の割合の負担金を拠出する。

政策シート

(政策名) 快適な道路・川づくり

(予算費目名) 都市下水路事業費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。
(都市下水路整備)

◇関連するSDGsのゴール

①都市	⑬気候変動								
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	4,812	35,049				
決算	4,771					
人件費(A)	1,400	1,400				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	6,171	36,449				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
都市下水路管理延長に対する点検巡視の実施延長割合	%	目標	1.1	6.1	22.1	38.2	54.2	70.3
		実績	1.1					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。
(都市下水路整備)

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・都市下水路点検業務を0.9km(1.1%)実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	都市下水路整備事業	○	○			36,449	35,049	0.2			
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						36,449	35,049	0.2			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

令和2年度

(管理番号)
03 04 02 05 002331000 01(担当課)
河川課(責任者)
野末 昇(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日**事業シート** (事業名) 都市下水路整備事業

◇事業目的・事業対象

・豪雨による市街地の浸水被害を防止・軽減するため、都市下水路の改修・維持管理を実施する。

◇事業の概要

◆単独事業

・都市下水路の改修・維持管理

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S38		一般会計	自治事務	下水道法	○	—	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	4,812	35,049				
	決算	4,771					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	4,771	35,049				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		1,400	1,400				
人工	正規	0.2	0.2				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	○ 11.5、11.b
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	○ 13.1
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

・気候変動に伴い頻発する大型台風や豪雨による浸水等の被害を防止、または軽減する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
都市下水路管理延長に対する点検巡視の実施延長割合(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	0	1.1	6.1	22.1	38.2	54.2	70.3
実績値	0	1.1					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ◆単独事業
- ・都市下水路点検業務

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・都市下水路点検業務を0.9km(1.1%)実施した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・R1都市下水路の点検業務をモデルにして、維持管理方針を策定する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・都市下水路の維持管理方針に基づき、適正な管理に努める。